「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 7 日

事業名称		文化振興費 [市民会館管理運営事業・新型コロナウイルス感染症対策事業]													
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	文化振興費	事業番号	1-2				
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)														
担当部署・課長名	地域振興			課			消費・共同参画			係	課長名	石川 正恵			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	1 - 4					
【施策名】 市民文化の振興									総合計画書(ページ)	41					
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)										
	市民(市外住民を含む)				市の人口(4,1現在)										
	→														
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)										
	市民の芸術文化に関する活動を充実させる。				市民会館の稼働率										
	→														
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)										
	指定管理者による事業の実施及び施設管理 指定管理者の管理・監督 指定管理者の範囲を超える施設修繕等の実施				市民会館の利用可能回数(全施設)										
	→														
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標								
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標							
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337									
	成果指標	②の数値	%	59.0	61.0	59.7									
	目標	②の目標値	%	60.0	60.0	58.0	59.0	60.0							
目標値設定の考え方 指定管理者が示した基本事業計画書の目標数値を設定した。															
3 経費	事業費(実績)		円	139,721,104	130,693,854	157,639,412	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)								
	財源	一般財源	円	117,121,104	110,943,854	124,141,412									
		特定財源	円	22,600,000	19,750,000	33,498,000									
			(うち受益者負担)	円	0	0						0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.5	0.5						0.5			
所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0										
職員人件費(再任用以外)		円	4,126,500	4,122,000	4,155,000										
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0									
事業費+人件費		円	143,847,604	134,815,854	161,794,412										
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成12年度												
	(2) 環境の変化		平成21年度から指定管理者制度を導入し、市民サービス向上及び経費の節減を図った。 平成31年度から通算3回目の公募で決定した指定管理者が前指定管理者から事業を引き継ぎ運営を行なっている。指定管理者は公募のたびに継続することができおらず、民間事業者のノウハウを持ってしても運営が難しい規模の文化施設である。 市民会館開館から20年目を迎えることから、開館当初からの設備に老朽化や不具合が生じてきていることから、舞台関係の設備更新工事を優先的に実施している。												

事業名称	文化振興費 [市民会館管理運営事業・新型コロナウイルス感染症対策事業]			
担当部署・課長名	地域振興	課	消費・共同企画	係 課長名 石川 正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 指定管理者の変更に伴い、これまで頻りに施設を使用していた利用者との間にトラブルが生じないように約1年間の引継期間を設定した結果、懸念されたトラブルはほとんどなかった。現指定管理者は駐車場の最大利用料金を500円に引き下げたことで利用者が増えたが、このことを知らなかった利用者も多く、PRに課題を残した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設の臨時休館や催しの延期・中止時において施設利用者やチケット購入者から今後の対応について多くの問合せがあった。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない 取組手法：①、③、⑥、⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：イベントインフォメーション) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 新たな指定管理者からの提案である「市民や関係団体との協働、賑わいの創出」の取り組みを通じて、市民が集い、文化を体験し、賑わい、交流する拠点施設としての役割を高めていく中で新たな協働の形態を構築する。
	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記) 平成31年4月における新体制への移行に伴い、基本協定に基づく市民会館の運営・管理が確実に行われるように進捗管理を行うとともに、開館20年を迎える施設の不具合や老朽化に適切に対応していくことが課題となる。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 指定管理者と定期的な連絡・報告・調整を行い、円滑な施設運営を行った。 指定管理者から新たな提案のあった駐車場利用料金の見直し、大ホールホワイエの単独貸出、大・小ホールの直前割引を実現した。 舞台音響・照明設備における計画的な更新工事、エントランス等照明の取替工事を実施した。
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 基本協定に基づく市民会館の運営・管理が確実に行われるように進捗管理を行うとともに、施設の不具合や老朽化に対して長期的な修繕計画をたてていくことが課題となる。
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 市民文化の振興 ☐ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 市の他部署や教育委員会との連携を図り、稼働率の向上など、新しい指定管理者が提示した事業が円滑に実施できるよう調整を行う。 市民会館の施設を安全・快適に利用してもらえるよう指定管理者が持つ専門知識を活用して計画的な修繕を行っていく。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 日頃から市の他部署や教育委員会と情報交換・共有を図り連携していく。 計画的に修繕を行えるように必要な予算計上を行っていく。 指定管理者と定期的な連絡・調整を行い、基本協定に基づく運営・管理が円滑に実施できるようにする。